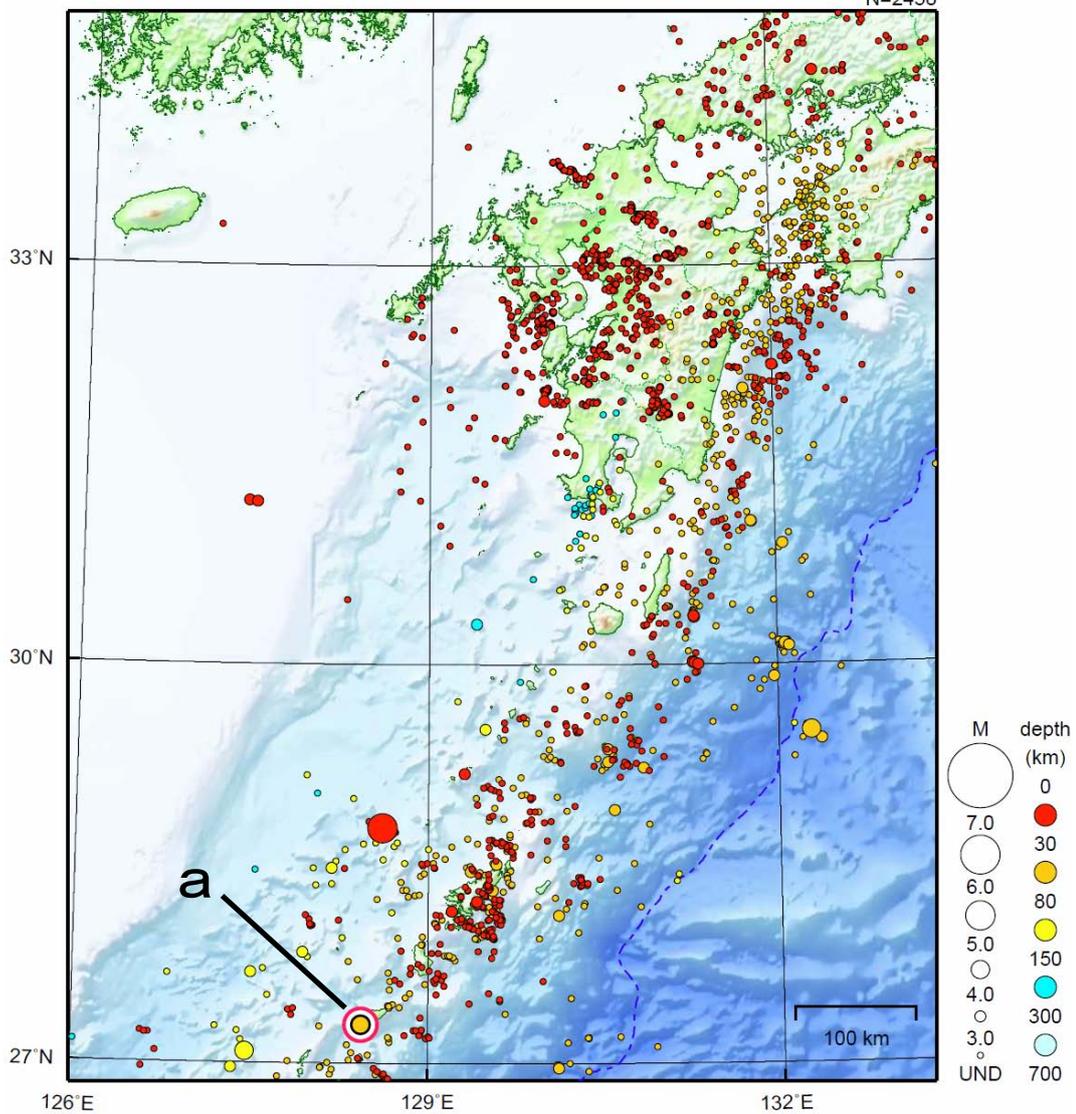


# 九州地方

2013/01/01 00:00 ~ 2013/01/31 24:00

N=2458



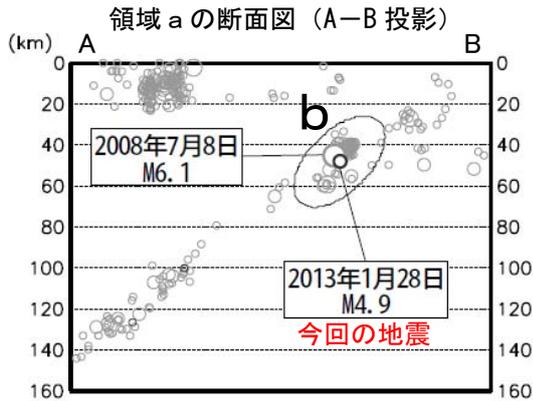
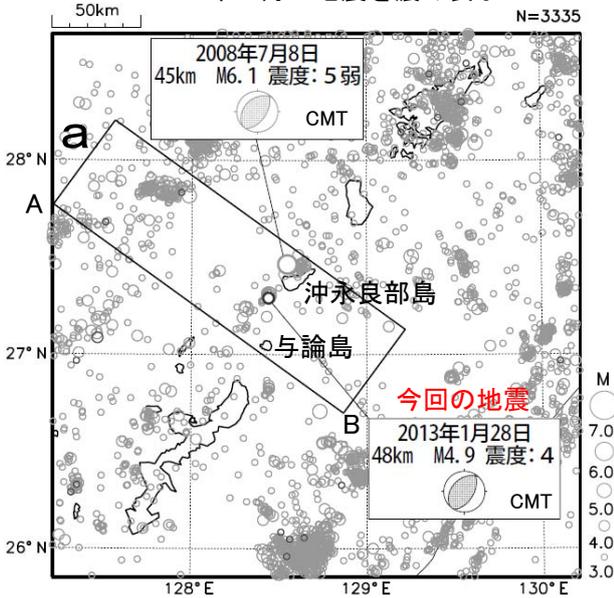
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 1月28日に沖縄本島近海でM4.9の地震(最大震度4)が発生した。

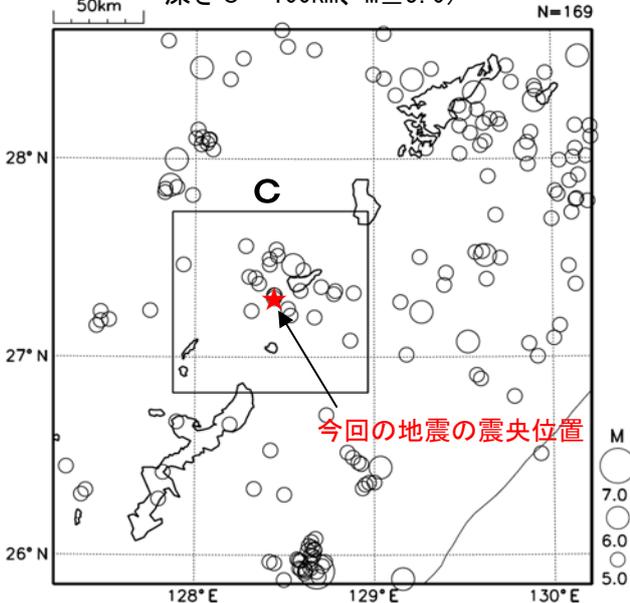
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 1月28日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2013年1月31日、  
深さ0～160km、 $M \geq 3.0$ )  
2013年1月の地震を濃く表示



震央分布図  
(1923年1月1日～2013年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



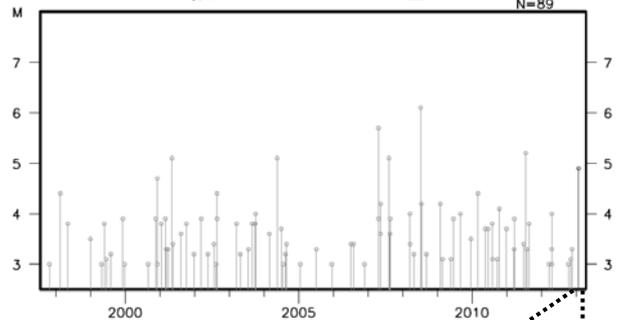
2013年1月28日05時57分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ48kmでM4.9の地震（最大震度4）が発生した。

この地震の発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この地震の余震活動は低調である。

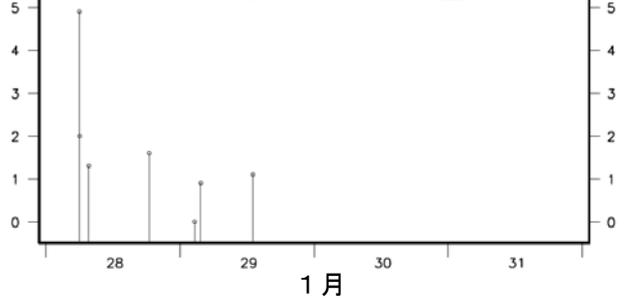
1997年10月以降の活動を見ると、今回の震源付近（領域b）では、2008年7月8日にM6.1の地震（深さ45km、最大震度5弱）が発生し、鹿児島県与論町のホテルの壁の一部損壊や柱の石膏ボード破損の被害を生じた（総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図



(2013年1月28日～31日、M全て)



領域c内のM-T図

